



2012年4月

各位

一般社団法人半導体産業人協会

理事長 牧本 次生

関西地区委員長 田中 俊行

第12回半導体産業人協会シンポジウムのご案内

高齢化社会において健康の問題は最大の関心事であり、医療の分野は半導体の今後のアプリケーションとして最も期待されるものの一つです。半導体を中心とするITの進歩により、今医療の世界でこんなこともできるようになった、また将来こんなこともできるようになるといった夢をその道の専門家に集まっていたいただき、語っていただきます。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

日時:6月14日(木) 13:30-17:00

場所:グランキューブ大阪(大阪国際会議場)リーガロイヤルホテル隣 12階 1202会議室

主催:一般社団法人半導体産業人協会

参加費用:個人会員・賛助会員 5,000円

非会員 8,000円

当日現金払い(領収証発行いたします)

【会場案内】

- JR「大阪駅」バスターミナルから、市バス(53系統船津橋行)または(幹55系統鶴町四行)で約15分「堂島大橋」バス停下車すぐ
JR大阪環状線「福島駅」、JR東西線「新福島駅」(2番出口)、阪神電鉄「福島駅」、大阪市営地下鉄(中央線・千日前線)「阿波座」(中央線1号出口・千日前線9号出口)
上記各駅よりそれぞれ徒歩約10分
- JR「大阪駅」北側西寄りから「リーガロイヤルホテル」行きシャトルバスが、運行しております。このバスは「リーガロイヤルホテル」とJR「大阪駅」、地下鉄・京阪「淀屋橋駅」西詰の間で運行しており、ご利用いただけます。



ご参加申し込みは下記あてに e-mail、電話、FAXいずれかの方法で、ご氏名、ご所属、ご連絡先をお知らせください。その際、会員、非会員の別をご連絡ください。

一般社団法人半導体産業人協会 E-mail: info@ssis.or.jp Tel:03-6457-3245 Fax:03-6457-3246

【プログラム】

13:30 開会挨拶

半導体産業人協会 理事長

牧本 次生 氏

13:40 基調講演

「ITと医療」

(株)リガク

浅井 彰二郎 氏

IT と医療技術は相互に影響しながら進歩しています。CT、MRI、超音波、PET などの医療画像診断技術は、センサ、画像処理、MEMS など最先端の半導体技術を使っています。今後は、生体整合性のある有機エレクトロニクスも、診断や治療に使われていくと予想されます。携帯電話やタブレットPCをつなぐ最新のワイヤレス通信技術にも、医療ニーズが高まっています。電子カルテなどの医療情報システムは、インターネット、クラウド・コンピューティングの世界の中で発展し、私たちの安全・安心を担って行きます。

14:50 休憩

15:00 -17:00 パネルディスカッション

『次世代医療と半導体技術の将来展望』

パネリスト

(株)リガク

浅井 彰二郎 氏

オムロンヘルスケア(株)

志賀 利一 氏

岐阜大学

小倉 真治 氏

野村証券(株)

和田木 哲哉 氏

モデレーター

(独) 産業技術総合研究所

井上 道弘 氏

高齢化社会における健康問題は最大の関心事であり、次世代の医療において半導体を中心とするエレクトロニクスや IT を活用することがますます重要になってきています。半導体にとって医療分野は今後大いに期待できるアプリケーションであり、新たな産業として注目が集まり始めていますが、現実には制度面など多くの課題もあります。このパネルでは、各分野の専門家に半導体技術をベースにしたエレクトロニクスや IT を次世代医療に活用する夢や課題についての将来展望を語っていただきます。